

テックドクターによる現地診断 (長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷)

令和3年8月14日に国道205号20k850付近(東彼杵町蔵本郷)の豪雨に伴う路面の変状及び法面表層崩壊が発生した。今後雨水による、路面変状及び法面表層崩壊の拡大が予想されるため現地状況の詳細な把握及び対応策の検討が必要と考えられることから、学識者による現地診断を実施した。

出席者:長崎大学大学院 蔣教授

● テックドクターによる調査



【今回の被災について】

- ・延長35mの路面の変状。
- ・延長8mの法面表層崩壊。

【対策方法について】

- ・路面変状については、通行止めとなっているため、早期に通行を開放する必要はあるが 降雨が継続されれば、変状がないか調査を実施して安全を確保し路面復旧を行って、開放すること。
- ・法面表層崩壊については、吹付法枠・鉄筋挿入にて復旧。